

# WELL通信

社会福祉法人  
ウエル清光会



中面特集 / ウエルの今を深掘り!

ご家族との  
信頼関係を築き  
利用者様を  
支える大きな力に

屋上菜園でさつまいもを収穫した年は、ディのおやつフレクで「スイートポテト作り」を楽しみました。



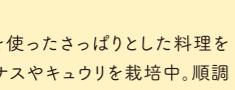
厨 房 だ よ り

陽 光 苑

目と舌で楽しむ、  
素朴な家庭料理

自立を目指すには、継続して  
デイサービスをご利用いた  
だくことが大切。利用者様に  
「また行きたい」と思ってい  
ます。

自立を目指すには、継続して  
デイサービスをご利用いた  
だくことが大切。利用者様に  
「また行きたい」と思ってい  
ます。



【季節の食材&メニュー】

じめじめとした季節には、梅などを使ったさっぱりとした料理を提供します。屋上の家庭菜園ではナスやキュウリを栽培中。順調に育てば今夏、新鮮なうちに召し上がりいただけます。

日々のお食事は、ウエル清光会のブログでも紹介しています。ぜひご覧ください。



選択メニュー(左)鶏からチリソース(右)メバルの幽庵焼き

事業所 PICK UP | デイサービスセンター陽光苑

介護度の低い方から高い方まで  
楽しみながら自立を目指します



『私たちがお迎えします!』  
(左から)  
機能訓練士兼介護福祉士／西川真広  
看護師／木原佐知  
介護職／坂本トヨタレザ  
介護福祉士／井上祐介

デイサービスセンター  
陽光苑  
兵庫県芦屋市陽光町  
3-75  
0797-31-7161  
送迎可能エリア:芦屋市全域・神戸市東灘区、  
西宮市



ただけるように、楽しい場づくりに注力しています。例えば、春にはお花見、夏にはお祭りなどイベント時には様々な企画をご用意。スタッフ総出で盛り上がります。特に大切にしているのが、介護度の低い方も高い方も同じように楽しく過ごせる空間を創ること。足の悪い方は車椅子でお花見にお連れして、耳の不自由な方には手話で会話するなど、誰もが疎外感を感じることなく、平等に楽しめるように取り組んでいます。



デイサービスセンター陽光苑では、2名の機能訓練士が介護の現場に入り、介護スタッフと連携して利用者様の自立支援をサポートしています。筋肉や骨格を知り尽くした機能訓練士が現場で介護スタッフに指導を行うことで、食事や入浴の際にも

利用者様のお身体の状態に適したケアが可能になります。また、1名は呼吸療法や摂食嚥下に関する資格を保有。介護スタッフだけでなく、ご本人やご家族にも全身状態に配慮した指導を行います。中には、適切な水分摂取の指導により、尿路感染で入退院を繰り返していた方が半年以上入院されることなく元気に通ってくださっている例もあります。

介護度に関わらず誰もが楽しめる

イベントを

自立を目指すには、継続して  
デイサービスをご利用いた  
だくことが大切。利用者様に  
「また行きたい」と思ってい  
ます。



口コミで広がる  
陽光苑のデイ利用

楽しいイベントに加え、お食事のおいしさでもご利用者様にご満足いただいています。素朴な家庭の味が評判で、最近では「この食事はおいしい」というご近所の方の口コミでご利用いただく方も増えました。主菜、副菜に季節のフルーツなどを添えた充実のメニューをご用意しています。(表紙「厨房だより」もご覧ください)



陽光苑では、全スタッフが職種の枠を超えて協力し合い、利用者様お一人おひとりをしっかり支え、在宅期間が少しでも長く継続できるように支援いたします。ぜひ、体験や見学にお越しください。

ウエルグループ

豊中市

- 清豊苑 [特]
- 利倉清豊苑 [地/デ/グ/小]
- 美豊苑 [特/ケ]
- 刀根山美豊苑 [地/デ]
- 輝豊苑 [デ/グ]
- ウエルケアプランセンター

- ウエリスト [小/デ]
- 社会福祉法人香聖会 宙豊中 [地/グ/小]
- 庵とよなか庄本 [有]

宝塚市

- 宝塚清光苑 [特/デ/グ/小/ケ/定]
- 陽光苑 [地/デ/グ]
- バセム西宮 [有]
- ケアプランセンター西宮清光苑



## ご家族との信頼関係を築き 利用者様を支える大きな力に

小規模多機能型居宅介護施設・宝塚清光苑では、利用者様へのサービス品質の向上を目指して、「昨年から「情報共有」に力を入れています。ご自宅をベースとした施設でのケアをよりスマートに提供するため、今年は特にご家族と職員との情報共有に取り組みました。



日々の様子をご家族に伝えるため、写真で記録

### ご家族が求める情報を より分かりやすく提供

**Q 取り組みの背景は?**

福井・当施設は小規模多機能なので、デイもあれば訪問も宿泊もあります。利用者の状況は日々変化しますし、利用時間や利用形態もご家族からのご希望もさまざま。私たちには、それらの多くの情報を、ご自宅での様子も含めトータルで把握した上でケアをすることが求められます。

ただ、これまで連絡ノートでの情報提供量に個々でばらつきがありました。また、コロナ禍でご家族との交流会が実施できず、ご家族も施設での様子を見る機会が減っていました。

高本・特養やグループホームとは異なり、小規模多機能は利用者様のご自宅が生活のベースになります。施設は特



宝塚清光苑  
管理者兼ケアマネージャー／  
高本明子(右)  
介護職員／福井裕恵(左)  
※他、プロジェクト担当者／  
沼圭介、安藤弘子、田代由香



別なことをする場所ではなく、ご自宅での生活の延長上にあるもの。できる限りご自宅と同じように過ごしていましたが、写真点数が限られるので、利用者様お一人おひとりの表情までは詳しく紹介できませんでした。ご家族が最も望んでおられるのはやはり、「施設ではどんなことをして、どんな表情で過ごしているのか」という点。そこで、2ヶ月に一度、お一人の利用者様専用のお便りを写真付きで作成してお渡しすることに。写真を見ていただければ利用者様の表情が分かりります。

このように、こちらから情報を提供することで、ご家族からも「家ではこんなことがあったよ」という情報がいただけなのではないかと思いました。

月に一度配布していましたが、写真

を月に一度配布していましたが、写真を貼り付けて追記

**ノウハウや工夫を**

**各施設で共有し改善へ**

**Q 反応はいかがでしたか?**

物」という宝塚清光苑小規模多機能の理念を体現していくたいですね。

高本・小規模多機能は、在宅サービスと入所施設の中間に位置する施設。最後の最後、ご自宅での生活が難しくなって入所されるまで長く使っていただきたいと思っています。長く在宅生活を続けていただくには、やはりご家族の協力が欠かせません。だからこそ、双方の情報共有、想いの共有はとても大切。施設とご家族が力を合わせて利用者様を支えられる体制をとり、利用者様にとつてもご家族にとっても、在宅生活が楽になるようお手伝いをしたいと思っています。

物」という宝塚清光苑小規模多機能の理念を体現していくたいですね。

高本・小規模多機能は、在宅サービスと入所施設の中間に位置する施設。最後の最後、ご自宅での生活が難しくなって入所されるまで長く使っていただきたいと思っています。長く在宅生活を続けていただくには、やはりご家族の協力が欠かせません。だからこそ、双方の情報共有、想いの共有はとても大切。施設とご家族が力を合わせて利用者様を支えられる体制をとり、利用者様にとつてもご家族にとっても、在宅生活が楽になるようお手伝いをしたいと思っています。

### ご家族と力を合わせて 在宅生活の継続をサポート

**Q 今後の目標は?**

福井・住み慣れた地域での生活を継続できるようにお手伝いするのが私たちの役割。利用者様、ご家族、スタッフ、事業者さんと、いろんな方との日々の関わりを大事にして「共に笑顔が一番の宝



福井・情報収集に対する全員の意識を底上げできたと思います。これまで、スタッフの経験で「この利用者様にはこの情報が必要」と個々で認識して対応していましたが、収集すべき情報が明確になりましたし、連絡ノートとという共通の情報源があるので、スタッフ全員がいつ誰に何を質問されても答えられる体制ができました。

同時に、利用者様のケアは、小規模多機能とご家族だけではなく訪問やりハビリ



利用者様の様子を写真で紹介(上)ご家族からの感想(下)